

2013
May

第4回 稲作レポート

2年目の田植え



2年目の田植えも晴天なり

気持ちの良い快晴でまさに田植え日和、宮城県宮城郡松島町でハミングバード石巻店、長町店、本部スタッフの総勢19名で田植え体験をしてきました。昨年からスタートした稲作プロジェクトですが、初めての田植え、稲の花見、農業体験、稲刈りなどを通してスタッフの食に対する意識も変化してきました。今年は2年目ということで、田植えに慣れているスタッフが多く、初めて参加するスタッフ達をサポートしている場面もありました。また、昨年は「つや姫」という品種を育てましたが、今年は「ササニシキ」を育てることになりました。「ササニシキ」は炙屋十兵衛で使用しているお米で、おかずの味を引き立たせるあっさりとした味わいが特徴です。宮城県では化学肥料や農薬の使用を半分以下に抑えた「みやぎの環境保全米」作りの取り組みをしており、使用している肥

◀安心・安全の肥料



田植えの意気込みバッチリ！▶



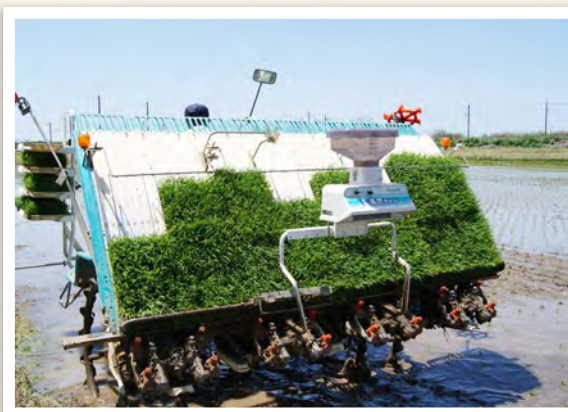
▲今年は「ササニシキ」を育てます！

「ササニシキの特徴」

宮城県を代表するおいしいお米です。ハツニシキとササシゲシを両親として昭和38年に誕生しました。粘りの強いお米が主流を占める中、あっさりとした舌触り、風味と香りに優れたお米「ササニシキ」は、40年以上を親しまれています。お寿司やさんからも「シャリといたらササニシキ」と高い評価を得ています。

料も環境保全米用を使っています。実際に田んぼに向かうと、たくさんのカエルが元気に跳ねる姿を目の当たりにすることができ、豊かな自然環境で育てられていることがわかります。

田植えは大部分を田植機で行いました。昨年もお世話になった「農業の匠」早川さんからご指導頂き、田植機に積極的に乗ってみたり、操縦してみたりして、貴重な体験ができたのではないのでしょうか。田植機をまっすぐに操縦するのは難しく、少し曲がってしまいましたが、無事植えることができました。田植機で植えられない場所は手植えになります。裸足で飛び込み、足の裏で土の感触を感じながら、みんなで一列になって植えていきます。カモメが大空を飛び交い、田んぼで羽を休める場面を眺めながら、自然と触れ合う農業体験をすることができました。



▲「こまきちゃん」という名前の機械です



一息ついて、BBQ♪

田植えが終わると、泥だらけの手足を洗って、みんなでバーベキューの時間です。さすが、プロは違う!と関心するのは、料理長達が率先して肉や野菜を焼いてくれたことです。また、その時に頂いた珍しい「赤米」を使ったおにぎりは、もちもちしていてとても美味しかったです。

今回も無事に田植えを終えることができ、また秋には立派な「ササニシキ」が育つことを祈りながら、私たちは田んぼを後にしました。最後に今回お世話になった皆さん、ありがとうございました。

おいしい「ササニシキ」
になるといいね♪

